

長泉寺だより

真言宗 薬園山長泉寺

〒700-0807
岡山市北区南方3丁目10番40号
TEL(086)223-7450
FAX(086)221-0302
振込 岡山 01250-6-6418
ホームページ: www.chosenji.net

第 283 号



六曲屏風『山水晨明圖』が完成。これが「祈りの道具」となり、結縁灌頂が開かれる。

日本画家の森山知己画伯(吉備中央町)が以前、山陽新聞に『目備悠久』シリーズを連載された。すばらしい、と感歎したのが最初の出会いである。
仏教寺院は山の中、流水があるところに建つ。町の中にあっても「山号」を名のるゆえんである。

この意図ができて以来、旭川の土手に立ち、北郊の山々を眺めることを日々の勤めにしてきた。

悠久の祈り

ひともし

そして五七五の句を詠み、祈りを込めていると、こころの言語化、映像化がなされたと言うか。

今秋、開壇の「結縁灌頂」はこの屏風の前
に衆僧がつどって始まる。長泉寺史上、初めてのことであるが、もとは旧本寺、三野の法界院で開かれていた。
人間の可能性——仏にも成ることができるという密教の大厳儀。大いに期待していただきたい。

わが祈り岡北三山旭川
流水に象の佛画や奇しかり

光研

仏様との御縁に結ばれご自身の戒名をお授かり下さい

結縁灌頂



とき：10月22日(水)
23日(木)

場所：長泉寺本堂
入戒壇料：3万円 予修戒名料 別
主催：長泉寺

申し込み締め切り 10月10日

～ボランティア基金便り～

いつも心温まるご支援誠にありがとうございます。義損金は取り纏め人道援助宗教NGOネットワーク(RNN)を通じて、AMDA支援活動に委託されます。

8月20日広島市北部を襲った豪雨で甚大な被害を受けられた被災者に対し救援の一助にと集まった義援金とボランティア基金募金と合わせ10万拠出させて頂きました。今後とも、引き続き温かいご支援の程、よろしくお願いいたします。

記

1 26年度被災者緊急救援拠出内訳(26/4月～9月 総額 268,483円)

- | | | | |
|-----------------|----------|-------|------------|
| ①広島市土砂災害被災者緊急救援 | 50,000円 | 9月8日 | RNN 人道援助宗教 |
| ② | // | 9月16日 | 広島市社会福祉協議会 |
| ③東日本大震災被災者緊急救援 | 158,483円 | 9月8日 | RNN 人道援助宗教 |
| ④中国雲南省地震被災者緊急救援 | 10,000円 | 9月8日 | RNN 人道援助宗教 |

2 志納金 55,805円(期間:平成26年5月22日～平成26年9月6日)

内訳	・広島市土砂災害被災者緊急救援	23,245円
	・中国雲南省地震被災者緊急救援募金	4,220円
	・ボランティア基金募金	10,545円
	・東日本大震災被災者緊急救援募金	17,795円

志納者名 (順不同)

☆広島市土砂災害募金

浅尾宗治、石村庄右、伊藤圭子、人見雅子、富田英行、近藤正一
谷口悦朗、佐藤恭子、新冲安男、石村邦子、秋庭春子、寺村昭子
前田昇・実香・実保、前田幸男、鈴木理英、前田繁彦・知子・宮本
光研
以上20名

☆中国雲南省地震緊急救援募金

服部政子、原田清子、大熊峯子、石村庄右、中村希典、新冲安男
以上6名

☆ボランティア基金募金

宮本光研、前原幸子、山田紀香、大熊峯子、原田清子、富田英行
岡田降志、湯浅章夫、磯山伝、服部政子、岡崎文雄、楳野浩子、
橋本時夫、難波治子、浅尾宗治、石村庄右、伊藤圭子、新冲安男
以上17名

☆東日本大震災被災者緊急救援募金

岩見徹、山田紀香、大熊峯子、原田清子、新家、岡田降志、山
根俊子、磯山伝、服部政子、岡崎文雄、石原縉吾、浅尾宗治、
前田昇、楳野浩子、長江志満子、真部京子、難波治子、石村庄
右、新冲安男
以上19名

せがき行

六十二名参加

おせがき行は八月二十四日、鳥取県の岩美町、浦富海岸で修されました。

当日は雨天、鳥取砂丘でご供養の予定が急遽、島めぐり遊覧船で「海上せがき」となりました。全員で『施餓鬼経』を唱え、お塔婆回向を修しました。

ご詠歌、コーラス『観音恋しぐれ』はバス車中でうたったことです。

参加者 (順不同)

岡本良子・西川正道・西方節子・人見雅子・安井修・寺谷定香・岩田降嗣・鈴木英理・佐藤恭子・丸山惣一・橋本時夫・宇佐美政栄・近藤正一・近藤泉・白神勝彦・白神艶子・西川生真・岩見徹・稲田公子・富田英行・富田伊久子・石野有佳里・国見孝子・新沖佐夜子・綾野富美子・新沖史野・伊藤圭子・中塚智美・伊藤功・石村庄右・浅尾宗治・石村邦子・小原洋美・前田昇・田原千代子・前田実加・有松須磨子・前田実保・西川昌子・東森正樹・中塚信子・秋庭春子・中西勝広・大倉美恵子・中西とし子・山根俊子・西田降・長江志満子・中塚智子・寺村昭子・森本八重子・中村希典・有松八千代・谷口悦朗・藤本恵子・西川行洋・中塚裕子・大熊峯子・宮本光研・宮本龍門・宮本容子・宮本大悟

おせがき

叫亭子

なつかしき浦富海岸施餓鬼行

雨の日の岩美しや日本海

砂の美術館に旧知の踊女に会ふ

(弁天講五七五会)

退任のご挨拶

橋本永諄



長い間、長泉寺内、並びに檀信徒の皆様方にはご厚情賜り、ありがとうございました。

今度、退任にあたり、振り返りますと約六年という長い月日が経っており、僧侶としてどうあるべきか、お寺とは何か、どうあるべきかなど…。たくさん教わり一言では言い表せません。その中でも私が一番勉強させてもらい、印象に残っている事は、人との繋がりで。当たり前かもしれませんが、一人ではできない事は二人、二人ではできない事は三人、何かをするという時に即座に人が集まり、それを実行する。だからこそ今までの大祭、イベントもできたんだと思います。そういった人間関係、信頼関係を見習い、これから活かしていきたいと思えます。また今後、お会いする事があれば気軽に声をお掛け下さい。ありがとうございました。

合掌

退任後は四国中央市善法寺に入寺します。



龍門住職夫妻に第二子「和弥」君が八月二十九日に誕生。

